■蓑田胸喜　　国家主義者。過激執拗な攻撃で自由主義的学者を次々抹殺，言論弾圧を主導し，<敗戦>直後に自殺。
みのだむねき
日清戦争始・1894＝　　熊本県八代で，材木商で旅館{熊本屋}の次男に生まれる。

日比谷公園・1903＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝11歳：

明治天皇没・1912＝18歳：

第一次大戦始1914＝20歳：八代中学校を卒業，

ロシア革命・1917＝23歳：第五高等学校を卒業し，東京帝国大学法学部に入学。三井甲之や上杉慎吉に師事，
のち文学部に転部して，宗教学を専攻。
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝25歳：*{興国同志会}に加入し，反マルクス主義および反デモクラシーの言論を展開する。
大暴落・・・1920＝26歳：卒業し，大学院に進む。
原敬首相暗殺1921＝27歳：
水平社結成・1922＝28歳：慶応義塾大学予科で論理学と心理学を講じ，
関東大震災・1923＝29歳：結婚。

治安維持法・1925＝31歳：*{原理日本社}を創立して雑誌{原理日本}を刊行，吉野作造ら大正デモクラシー運動の論客の攻盤を開始。

金融恐慌・・1927＝33歳：慶応義塾大学精神科学研究会長。
_その論の過激さで"きょうき"と呼ばれて恐れられ，やがて，大学のリベラル派に的を定め，京都帝国大学の滝川幸辰・東京帝国大学の美濃部達吉の学説を雑誌やパンフレット・著書などで早い時期から論難し，
海軍軍縮条約1930＝36歳：
満州事変・・1931＝37歳：
五一五事件・1932＝38歳：境内を退職し，国士館専門学校教授。
国際連盟脱退1933＝39歳：_<滝川事件>と，

芥川直木賞始1935＝41歳：_<天皇機関説問題>の導火線的役割，

日中戦争始・1937＝43歳：
健保+総動員 1938＝44歳：*{帝大粛正期成同盟}を結成，津田左右吉・矢内原忠雄ら自由主義的教授の排撃運動の中心的役割を担い，
第二次大戦始1939＝45歳：

日米開戦・・1941＝47歳：
_思想・学説レベルでのファシストの攻撃としては最も効果的で，大学と言論の自由を打ち倒すに至る。

年金+総武装 1944＝50歳：*郷里熊本に疎開し，
敗戦・・・・1945＝51歳：_<敗戦>後，
新憲法公布・1946＝52歳：_自殺した。
「独露の思想文化とマルクス=レニン主義」「学術維新」など，多数の著述がある。

「"日本"への問いをめぐる闘争―京都学派と原理日本社」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，